

Biz Clip調査レポート(第10回)

複合機利用実態調査2018

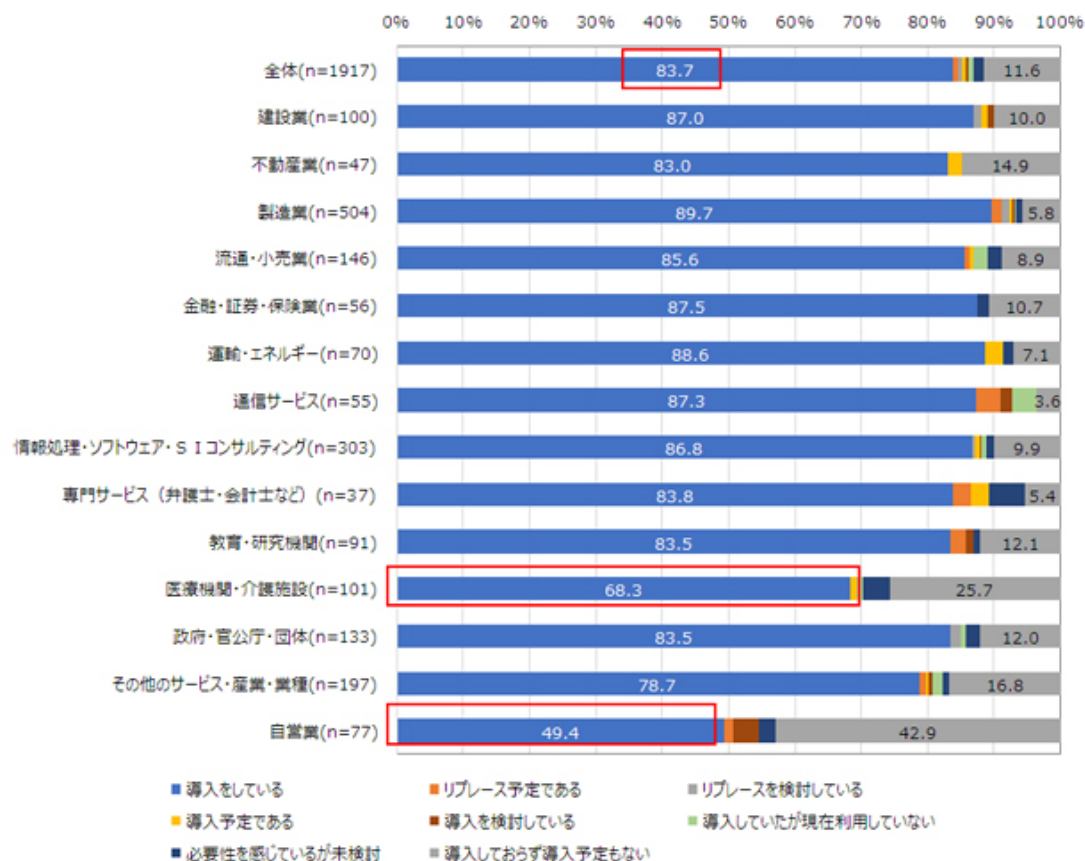
2018.03.14

企業の複合機の導入実態および機能への満足度などはどうなっているか。その実態について、日経BPコンサルティングのアンケートシステムAIDAにて、同社保有の調査モニター2859人を対象に調査を実施した。

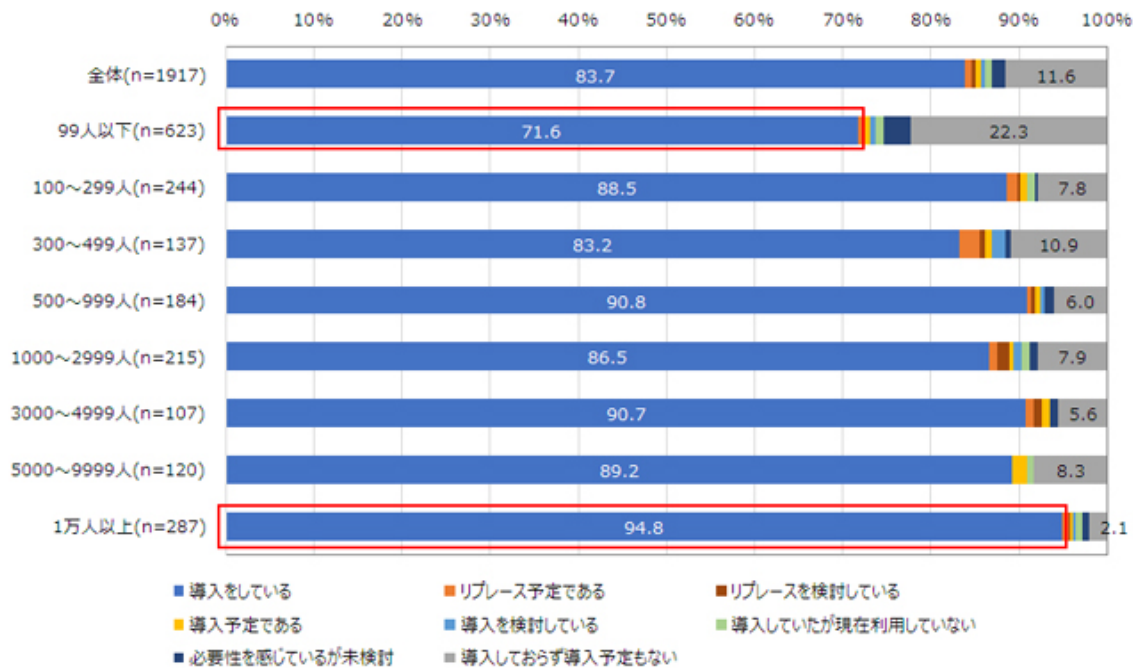
8割の企業が複合機を導入済み

複合機の導入率は83.7%と高い結果となった。業種別で見ると、多くの業種が8割を超える導入率となっているものの、「医療機関・介護施設」と「自営業」は7割を切った(図1-1)。従業員規模別で見ると1万人以上の企業の導入率が最も高く、94.8%の企業が導入している。一方、99人以下の企業の導入率が71.6%と、他の従業員規模に比べて低い(図1-2)。従業員規模が大きくなり、また「医療機関・介護施設」と「自営業」は、複合機が持つほどの機能を必要とせず、低価格のプリンター、ファクスで済んでいると想定される。

【図1-1 複合機の導入状況(業種別)】



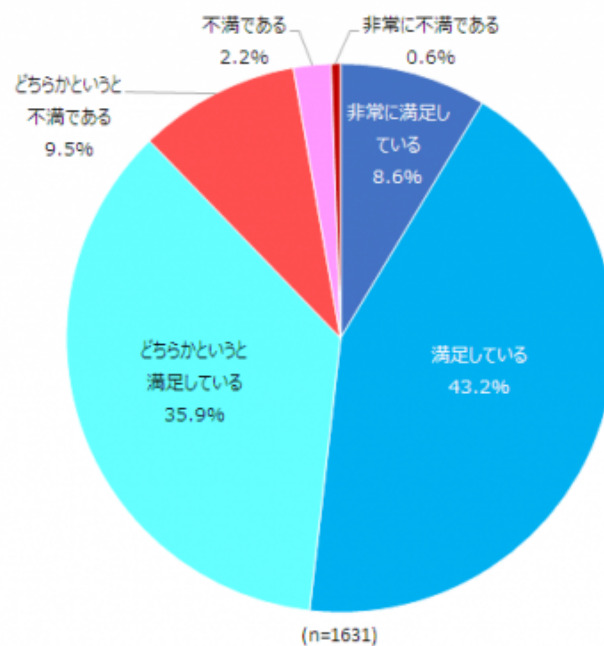
【図1-2 複合機の導入状況(従業員数別)】



利用している複合機に9割が満足

満足度については、複合機を導入している企業の87.7%が、利用している複合機に対して満足傾向（非常に満足～どちらかという満足）の回答をした(図2)。「非常に満足」と回答している企業は8.6%と約1割で、「満足している」と合わせると過半数を占める。「非常に不満である」と回答している企業は0.6%と1%にも満たなく、導入している複合機に対する企業の満足度は高いといえる。

【図2 利用している複合機の満足度】



満足度の高い機能は「速度効率」… 続きを読む